

香取遺産

Vol.123

江戸中期の高僧
松永吞舟の墓

閻生涯学習課 ☎(50)1224



▲吞舟の墓碑 (写真中央)、寿蔵碑 (写真左)

津宮の千佛寺境内には松永吞舟の墓碑と安永8年(1779)建立の寿蔵碑があります。墓碑には「嵯峨後学和漢両派及第松永友也源宗弼之碑」と刻まれています。

吞舟は元禄11年(1698)11月飯岡村下永井(現旭市)に生まれました。父は水谷勝国、のちの寺門与右衛門、母は俳人松永貞徳の姪でカメといいました。母は産後まもなく他界し、父も3歳の時に世を去りました。孤児となった吞舟は近隣の人にしばらく育てられていたが、7歳の時、同地観世寺(飯岡長妙寺)の小僧に引きとられました。しかし、まもなく佐倉藩に仕えていた松永操雪を頼り、名を松永友也、字を宗弼と改めています。

9歳の時(一説に13歳)、江戸に赴いた吞舟は林家の門に入り、朱子学に精通します。その後、才覚が認められ山城(京都府)の越智氏に仕えて禄250石を与えられますが数年で辞しています。

享保12年(1727)30歳で真言宗豊山派の総本山神楽院長谷寺に入り、字を吞舟・北溟と号しました。34歳の時、京都で和漢両派を学んだ後、全国を遍歴して学問に専心したと伝えられています。元文3年(1738)津宮村の名主久保木太郎右衛門を訪ね、その斡旋で香取神道山根本寺の住僧となります。根本寺では、酒杯を友とし閑寂な隠遁生活を送ったといわれていますが、世事にこだわらず喜怒を表面に表さない吞舟に多くの人々が敬服したといわれています。門人には、久保木竹窓などがいます。

吞舟の著書や諸記録は相当数あったようですが、安永9年(1780)、当時としては長寿の83歳で亡くなる前に、全部焼いてしまったといわれています。そのため墓碑と寿蔵碑は吞舟を知る上で貴重なものとなっています。

昭和45年5月27日に市文化財に指定されました。

文芸

作品募集 はがき1枚に俳句2句・短歌2首のどちらかと、本名、住所、電話番号を記入し、〒287-8501 広報かとり「俳句」または「短歌」の係まで。毎月15日までの到着分(12月10日締切)を審査し、翌月号に掲載。掲載される作品は、選者により評を踏まえて添削される場合があります。

香取俳壇

藤崎 よし選

麦飯で育ち昭和の大家族

本宮 みつ(小見川)

評 食のあふれる今の世に儉しき昭和を振り返る作者。何処の家も大家族で、まして農家は三度の食は麦飯が常。粗食と思いう麦飯に、家族が健康に育ち、改めて感謝の気持ちを表した句。

玫瑰の潮騒高き海難碑

郡 千恵子(下小川)

若かりし軍服の父終戦日

尾形 正子(木内)

夕暮れの明るさ借りて稲を刈る

斉藤 信子(山倉)

蝉しぐれ戦艦のごと白き雲

佐藤 たみ子(大倉)

総出して稲刈り日和好天気

宮崎 弘(白井)

香取歌壇

稲村 恒次選

・旧仮名遣い

畑帰りにひと休みせる木陰には笑まひやさしく地蔵のおはす 菅谷 ふさ(久保)・

評 畑仕事を終えた充実感が地蔵のやさしい微笑みに託されて明るく表白された。このように短歌は誰にもわかる表現で、誰の心にも感動を与え得るものでありたい。その上で気品とか濃くのようなものがあればなお望ましい。

百二歳の天寿を全うしたる父を誇りつつ新盆の棚飾りなす 平山 隆子(小見川)

朝光に撓ふほどなり露宿しくれなる深き水引の花 嶋田 武夫(下飯田)・

今一度ハザードマップを見直さむ水に囲まれわが家はあり 西岡 由起(小見川)・

朝露に青を深める月草の花は真昼に萎えてしまえり 鈴木 一満(八筋川)

凌霄花へメロカリスの咲き満ちてわが庭にはかに華やぎを見す 長嶋 理子(高萩)・

■お詫びと訂正
9月1日号12ページ「与田浦コスモスマツリ」の中で、ミスあやめ撮影会の期日を9月18日(日)と記載しましたが、17日(土)の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

米国カリフォルニア州で始まった一斉防災訓練(シェイクアウト)を日本でも広めようと、昨今、各地の自治体などが中心となって呼びかけています。訓練用のアプリが配信されるほど機運が高まっているこの行動ですが、どこかで見えたことがあると思えば、モデルとなったのは昭和の日本の訓練だとか…。シンプルながらも地震シナリオに基づいた確実な訓練に、ぜひ参加したいものです。(H)

今月の納期限

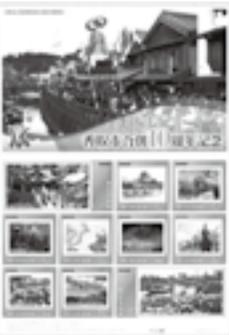
9月30日(金)

- 固定資産税 (3期)
- 国民健康保険税 (3期)
- 介護保険料 (3期)
- 後期高齢者医療保険料 (3期)

今月の休日納税相談日

9月25日(日)

香取市合併10周年
オリジナル
フレーム切手
追加販売



企画政策課 ☎(50)1206

- 販売数 300シート(1人5シートまで)
- 販売日時 9月15日(木)から(平日の9時~17時)
- ※売り切れ次第終了
- 販売場所 企画政策課
- 料金 1シート1,230円(82円切手×10枚)

佐原工芸の達人になる



商工観光課 ☎(50)1212

■期日・内容

- 佐原張子…10月23日(日)、11月20日(日)
- 切り絵…10月29日(土)、11月26日(土)
- 佐原ラフィア…11月6日(日)、11月27日(日)
- ミニチュアフード…11月13日(日)、12月3日(土)
- エッグアート…11月19日(土)、12月10日(土)
- 時間 10時40分~12時10分
- 場所 佐原町並み交流館2階
- 参加費 各コース800円
- 定員 各回30人(ミニチュアフード、エッグアートは15人。キャンセル不可)
- 申込 実施日の1週間前までに
- 佐原町並み交流館 ☎(52)1000

広報かとり

平成28年(2016)9月15日号 No.252

編集 香取市役所総務企画部秘書広報課
〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127
TEL 0478-54-1111 FAX 0478-52-4566
http://www.city.katori.lg.jp